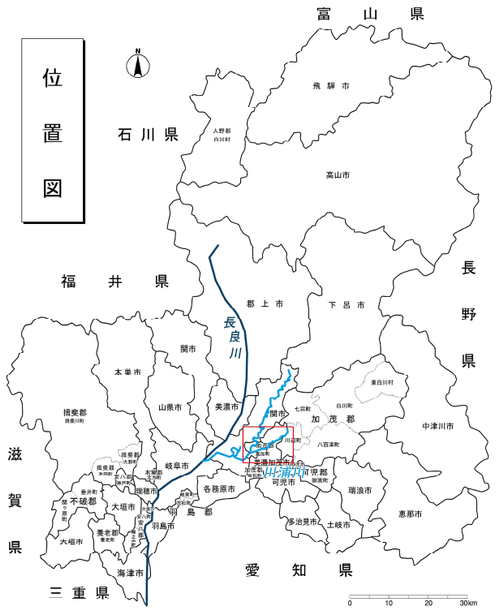
木曽川水系川浦川洪水浸水想定区域図
（浸水継続時間）

位置図



1. 説明文

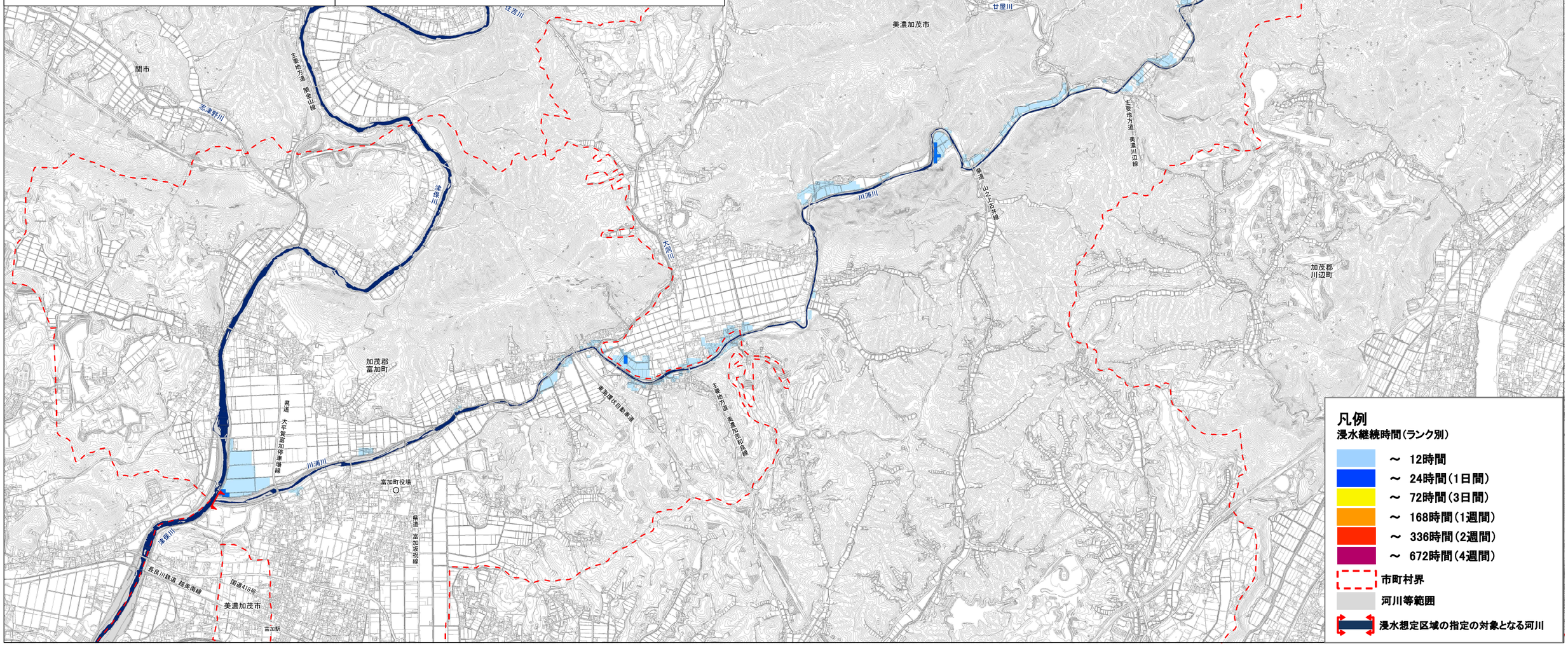
（1） この図は、木曽川水系川浦川の岐阜県管理区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による浸水継続時間を表示した図面です。

（2） この浸水継続時間は、指定時点の川浦川の河道等の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により川浦川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3） なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

2. 基本事項等

（1） 作成主体　　岐阜県可茂土木事務所
（2） 指定年月日　　令和5年2月1日
（3） 指定の根拠法令　　水防法（昭和24年法律第193号）第14条第3項
（4） 対象となる河川
・木曽川水系川浦川
（実施区間）
左岸：美濃加茂市三和町川浦字治田淵61番の2地先から津保川合流点まで
右岸：美濃加茂市三和町川浦字治田淵61番の2地先から津保川合流点まで
（5） 指定の前提となる降雨　　川浦川流域の24時間総雨量836mm
（6） 関係市町村　　美濃加茂市、富加町
（7） その他計算条件等
① この図は、木曽川水系川浦川の岐阜県管理区間で破堤等した場合の浸水継続時間を示しています。
② この図は、川浦川の（4）に示す区間において、一定の条件で破堤等させた時の氾濫解析計算結果を基に作成したものです。
③ 氾濫解析計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。



S = 1:15,000

0 1,000 2,000 3,000 4,000 m

注）この図面は岐阜県共有空間データを使用しています。